

新旧対照表

○中津市地域防災計画 第1編 総則

修正後	修正前																																										
<p>第1章 計画の目的</p> <p>第1節 略</p> <p>第2節 計画の性格 (略)</p> <p>このため、市の各部、支所、課及び大分県、指定地方行政機関、指定公共機関、指定地方公共機関及び公共団体等（以下「関係機関」という。）は、相互の緊密な連携と協力によって、この計画に定める方針及び実施基準に従い、災害の防除と被害の軽減に努めるとともに、計画の策定にあたっては、<u>地域における生活者の多様な視点を取り入れた防災体制を確立するため、<b>防災会議の委員に占める女性の割合を高めるよう取り組む</b>など、</u>防災に関する政策・方針決定過程への女性や高齢者、障がい者などの参画に配慮するものとする。</p> <p>(略)</p> <p>第3～7節 略</p> <p>第2章 本市の状況</p> <p>第1節 自然条件</p> <p>第1 略</p> <p>第2 地形 (略)</p> <p>地目別面積 (単位：ha)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">総数</th> <th colspan="2">農用地</th> <th colspan="3">森林等</th> <th rowspan="2">宅地</th> <th rowspan="2">その他</th> </tr> <tr> <th>田</th> <th>畑等</th> <th>山林</th> <th>竹林</th> <th>原野</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>略</td> <td>2,980</td> <td>略</td> <td>略</td> <td>略</td> <td>略</td> <td style="color: red;">1,994</td> <td style="color: red;">5,480</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: right;">資料：令和<u>5</u>年版大分県統計年鑑</p> <p>(略)</p>	総数	農用地		森林等			宅地	その他	田	畑等	山林	竹林	原野	略	2,980	略	略	略	略	1,994	5,480	<p>第1章 計画の目的</p> <p>第1節 略</p> <p>第2節 計画の性格 (略)</p> <p>このため、市の各部、支所、課及び大分県、指定地方行政機関、指定公共機関、指定地方公共機関及び公共団体等（以下「関係機関」という。）は、相互の緊密な連携と協力によって、この計画に定める方針及び実施基準に従い、災害の防除と被害の軽減に努めるとともに、計画の策定にあたっては、<u>地域における生活者の多様な視点を取り入れた防災体制を確立するため、</u>防災に関する政策・方針決定過程への女性や高齢者、障がい者などの参画に配慮するものとする。</p> <p>(略)</p> <p>第3～7節 略</p> <p>第2章 本市の状況</p> <p>第1節 自然条件</p> <p>第1 略</p> <p>第2 地形 (略)</p> <p>地目別面積 (単位：ha)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">総数</th> <th colspan="2">農用地</th> <th colspan="3">森林等</th> <th rowspan="2">宅地</th> <th rowspan="2">その他</th> </tr> <tr> <th>田</th> <th>畑等</th> <th>山林</th> <th>竹林</th> <th>原野</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>略</td> <td>2,990</td> <td>略</td> <td>略</td> <td>略</td> <td>略</td> <td style="color: red;">1,983</td> <td style="color: red;">5,481</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: right;">資料：令和<u>4</u>年版大分県統計年鑑</p> <p>(略)</p>	総数	農用地		森林等			宅地	その他	田	畑等	山林	竹林	原野	略	2,990	略	略	略	略	1,983	5,481
総数		農用地		森林等					宅地	その他																																	
	田	畑等	山林	竹林	原野																																						
略	2,980	略	略	略	略	1,994	5,480																																				
総数	農用地		森林等			宅地	その他																																				
	田	畑等	山林	竹林	原野																																						
略	2,990	略	略	略	略	1,983	5,481																																				

修正後	修正前
<p>第3～6 略</p> <p>第2節 略</p> <p>第3章 災害とその特性</p> <p>第1～2節 略</p> <p>第3節 地震・津波</p> <p>1 略</p> <p>2 海溝型地震と活断層型地震等の特性 (略)</p> <p>○南海トラフを震源とする地震（南海地震、東南海地震）は、陸のプレートの下にフィリピン海プレートが沈み込むことに伴い、これら二つのプレートの境界面が破壊することによって発生する地震（以下、「プレート間地震」という。）である。過去の地震の規模は、南海地震でM8.0～M8.4、東南海地震でM7.9～M8.4、二つの地震の領域が一度に破壊したとされる1704年の宝永地震ではM8.6であったとされている。今後南海トラフを領域としてM8～M9クラスの地震が30年以内に発生する確率は70～80%とされている。</p> <p>(略)</p> <p>第4～5章 略</p>	<p>第3～6 略</p> <p>第2節 略</p> <p>第3章 災害とその特性</p> <p>第1～2節 略</p> <p>第3節 地震・津波</p> <p>1 略</p> <p>2 海溝型地震と活断層型地震等の特性 (略)</p> <p>○南海トラフを震源とする地震（南海地震、東南海地震）は、陸のプレートの下にフィリピン海プレートが沈み込むことに伴い、これら二つのプレートの境界面が破壊することによって発生する地震（以下、「プレート間地震」という。）である。過去の地震の規模は、南海地震でM8.0～M8.4、東南海地震でM7.9～M8.4、二つの地震が同時に発生した場合はM7.9～M8.6であったとされている。今後南海トラフを領域としてM8～M9クラスの地震が30年以内に発生する確率は70～80%とされている。</p> <p>(略)</p> <p>第4～5章 略</p>